



**2026年3月期
第3四半期決算及び
業績予想の修正に関する資料**

**Institution for a Global Society株式会社
(東証グロース：4265)**

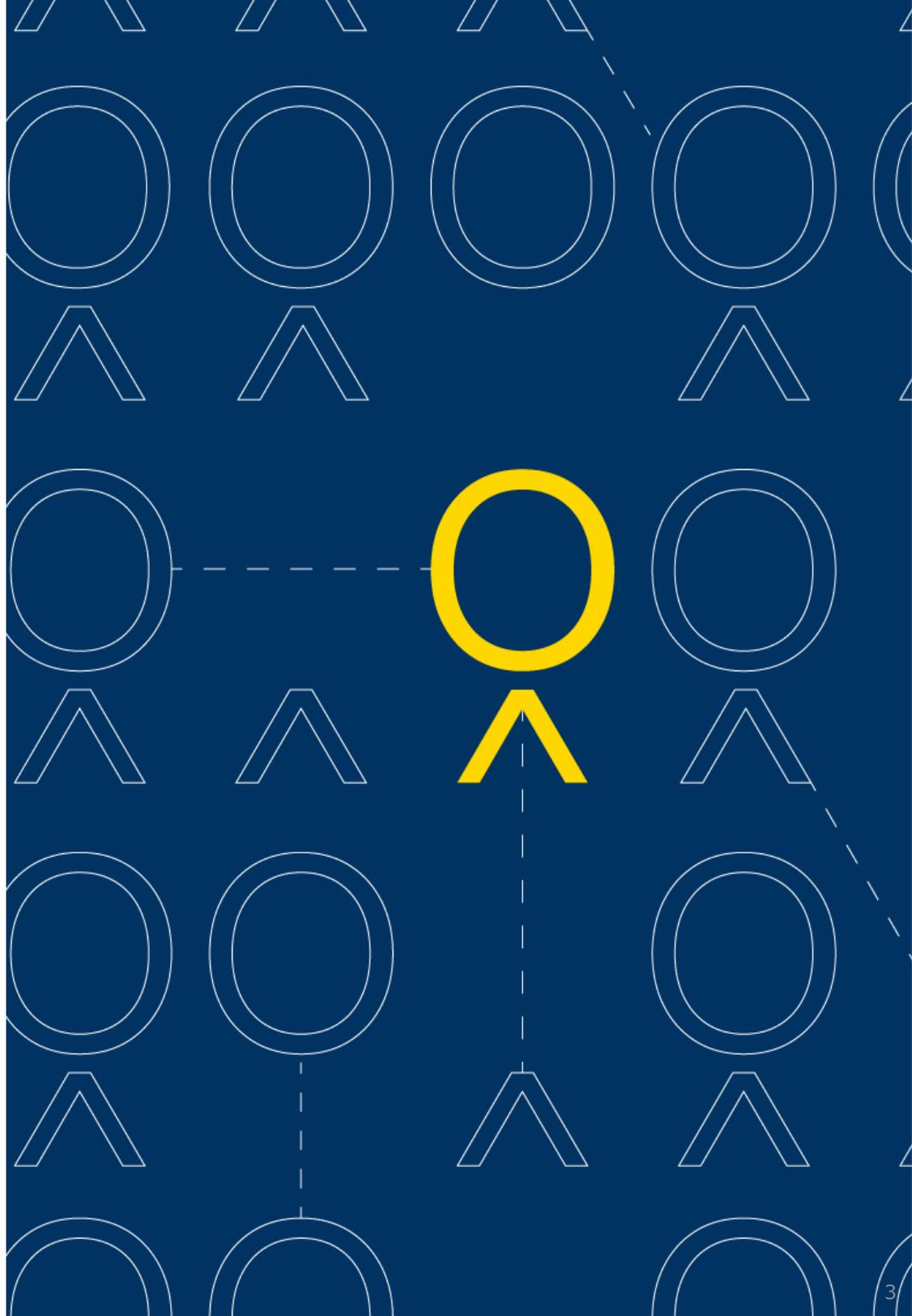
IGS

2026年2月12日

目次

01	業績予想の修正に関する補足資料	03
02	3Q業績ハイライト	08
03	Appendix	11

01 ■ 業績予想の修正に 関する補足資料



2025年度においては、前年度の落ち込みを受け、海外を含めた構造改革を実施し、来年度以降の持続的な成長を目指しています。

構造改革の一環として、**4Qにて貸倒引当金繰入額及び特別損失**を計上することとしました。これは、2年前に売却した海外向けシステムの債権や、システム保有会社の投資有価証券等を厳格に評価し、今期で一括清算するものです。これは、非現金の会計処理が主であり、**キャッシュ・フローへの影響は限定的となる見込みであり**、かつ、3Qにて実行した第三者割当増資によって運転資金及び設備投資資金を確保しております。

今期の当初予想からの乖離に関しては、売上高について、教育事業は想定通りである一方、HR事業は想定していた大口顧客の期ずれなどもあり下回ることとなりました。構造改革の中心となったPF/Web3事業においてはONGAESHI事業については完全に撤退し、一方で、そこで得た知見をもとにブロックチェーンビジネスを利用し国内外での可能性を高め売上が生じてきているものの、セキュリティなどを含めたシステム変革に時間がかかっており今期においては計画未達となっております。

なお、**営業利益ベースの本業における売上収益性や生産性は、前年比では大幅に向上しており**、2026年度に向けても持続的な成長を実現してまいりますので、引き続き、株主・投資家の皆様のご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

売上高は、教育部門は予定通りの進捗であるものの、HR事業・PF/Web3事業において、社内のリソース不足や顧客都合による受注時期のスライドにより予定通りに進捗せず、当初予想を下回る見込み。

営業・経常利益については、貸倒引当金繰入額150百万円の計上により当初予想を下回る見込み。しかしながら、本業における収益性は確実に上がっており、かつ売上に合わせたコストコントロールの効果もでてきている。

親会社株主に帰属する当期純利益は、投資有価証券評価損103百万円並びに減損損失15百万円の計上により、当初予想を下回る見込み。

(単位：百万円)	当初予想	修正予想	増減額	前年実績	前年比較
売上高	830	700	△130	602	+97
HR事業	370	290	△80	238	+51
教育部門	350	350	-	308	+41
PF/ Web3事業	110	60	△50	55	+4
営業費用（貸倒引当金繰入額）	0	150	+150	-	+150
営業費用（その他）	802	740	△62	906	△166
営業利益	28	△ 190	△218	△303	+113
経常利益	63	△ 147	△210	△295	+148
親会社株主に帰属する 当期純利益	60	△ 243	△303	△336	+93

HR事業

■ 要因分析

- 最終合意段階の案件が先方の経営体制変更で中止。また、受注済み案件が顧客の計画の関係で翌期へスライド。
- 計50百万円規模の穴を即座に埋めるための営業リソースの厚みが不足。新製品「GROW360+」への注力体制は敷いたものの、人的制約により機動的なリカバリー策を展開しきれなかった。

■ 今後の施策

- コンサルタント体制を拡充。特定案件に依存しない強固なパイプライン管理体制へ移行。

PF/Web3事業

■ 要因分析

- 当初計画のONGAESHI事業を閉じ、伸びている暗号資産新サービスに注力。新サービスの**ユーザーの利便性向上およびセキュリティ水準の更なる強化を目的とした追加開発**を実施。最高水準のプロダクト提供を優先し、ローンチを3月中旬へ変更したことで、期初見込み売上が翌期へシフト。
- 複数のコンサルティング案件で合意を得たものの、顧客側にて「研修からのスタート」を希望。一方で、「年度内の受講者確保が急務となり困難」という顧客側のリソース都合により、本格始動が来期へスライド。

■ 今後の施策

- 競争力の高い新サービスを、追加開発により競争力を高め3月中旬に投下。蓄積した引き合いへのアプローチを即座に開始する。
- すでに意向を確認済みのコンサル案件について、顧客側の受講者確保のタイミング（新年度）に合わせ、来期1Qからの確実な立ち上げを推進する。

プルータスグループとの資本業務提携による調達資金を既存事業の開発投資やグローバル事業展開に注入しビジネスチャンスを拡大

- 当社の保有する人的資本ビッグデータとプルータス・グループの有する企業価値評価の知見を掛け合わせ、M&AやPMI、企業価値向上に資する人的資本デューデリジェンスを開発、また、両社のコンサルティングサービスを融合させた高度な人的資本サービスの提供により、HR事業のビジネス領域を拡大。
- 巨大な人材輩出市場であるインドにおける事業展開を推進し、将来的に「グローバル人材データプラットフォーム」に構築することで、教育事業及びプラットフォーム事業のビジネス領域を拡大。
- 上記の**全セグメントにおけるビジネス領域の拡大**により、**売上高増加及び企業価値向上**を目指す。

HR事業

教育及びプラットフォーム事業

資金調達により拡大した事業領域

人的資本ビッグデータと企業価値評価・算定の知見を掛け合わせた、M&AやPMI、さらには中長期的な企業価値向上に資する人的資本デューデリジェンスを提供

インド市場を中心に、AiGROW Indiaの展開や現地事業者との協業を推進し、「グローバル人材プラットフォーム」を構築

売上高増加

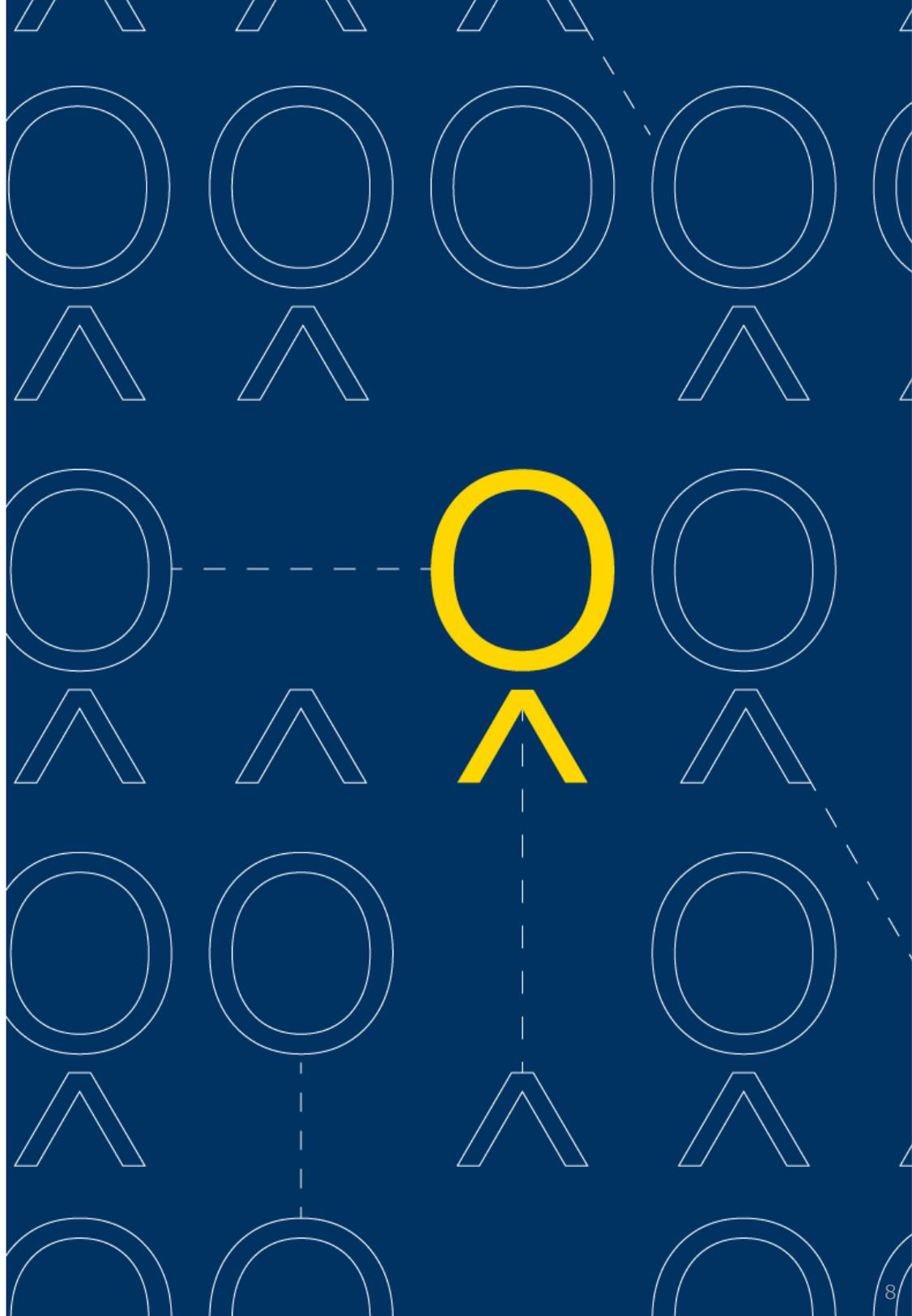
企業価値向上

現状の事業領域

人的資本評価とDX支援を組み合わせ、測定から育成までの一貫した価値を提供

Ai GROWを国内で伸長させ、受託業務によるグローバル展開を促進、先端技術を活用したコンサルティングサービスを展開

02 ■ 3Q業績ハイライト





売上高

3 Q連結実績

433百万円

前期比+8.5%

前期 3 Q連結実績

399百万円

売上高は、全社で前期比+8.5%。

HR・教育事業は前期比増収。

PF事業は転職支援サービスの計画的な縮小に伴い、前期比減収。

四半期純損失

3 Q連結実績

△ **115**百万円

前期比+220百万円

前期 3 Q連結実績

△ **332**百万円

上記の通り、HR・教育事業の売上高増加や、全社的にコスト構造を見直し前年同期比で15%のコスト削減を達成すべくコスト最適化に努めた結果、**前期比大幅改善**。

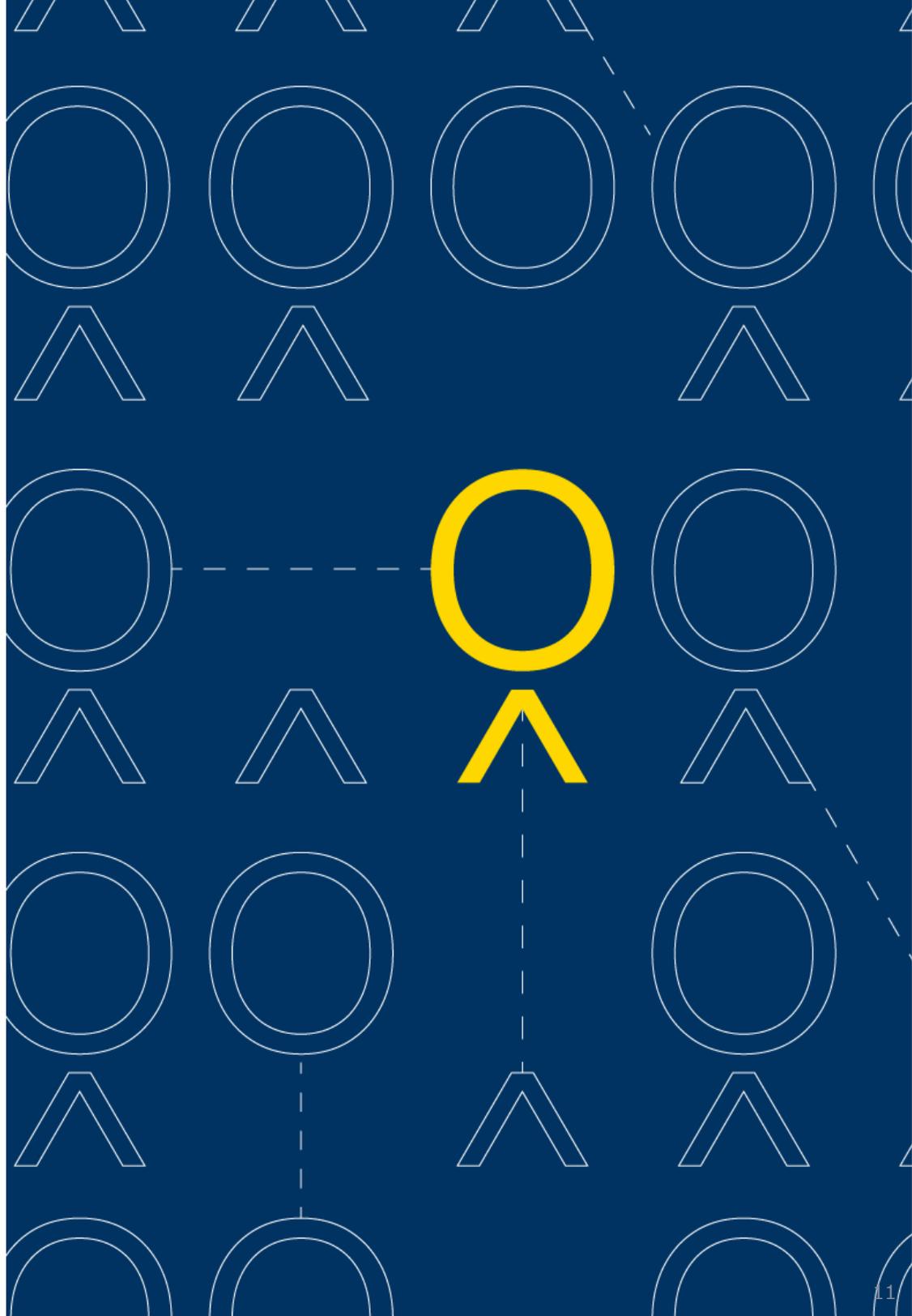


	HR	教育	PF/Web3
売上高	3Q売上高 176 百万円 前期比+10.9%	3Q売上高 230 百万円 前期比+12.6%	3Q売上高 26 百万円 前期比△25.1%
セグメント利益又は損失	13 百万円 前期比+62百万円	77 百万円 前期比+52.2%	△ 25 百万円 前期比+89百万円

- ・HR/教育事業は既存商材の売上を着実に伸長させた結果、**前期比増収**。
- ・PF事業は転職支援サービスの計画的な縮小に伴い、**前期比減収**。

- ・HR/教育事業は、上記に伴いセグメント利益ベースで**前期比改善**。
- ・PF事業もコスト最適化に努めた結果、セグメント利益ベースで**前期比改善**。

03 ■ Appendix



(単位：千円)	2025年3月期 3Q連結実績	2026年3月期 3Q連結実績	前期比
売上高	399,196	433,316	+8.5%
売上原価	312,660	210,012	△32.8%
売上総利益	86,535	223,303	+158.0%
販管費	376,385	342,177	△9.1%
営業損失 (△)	△289,849	△118,873	-
親会社株主に帰属する四半期純損失 (△)	△332,629	△115,477	-

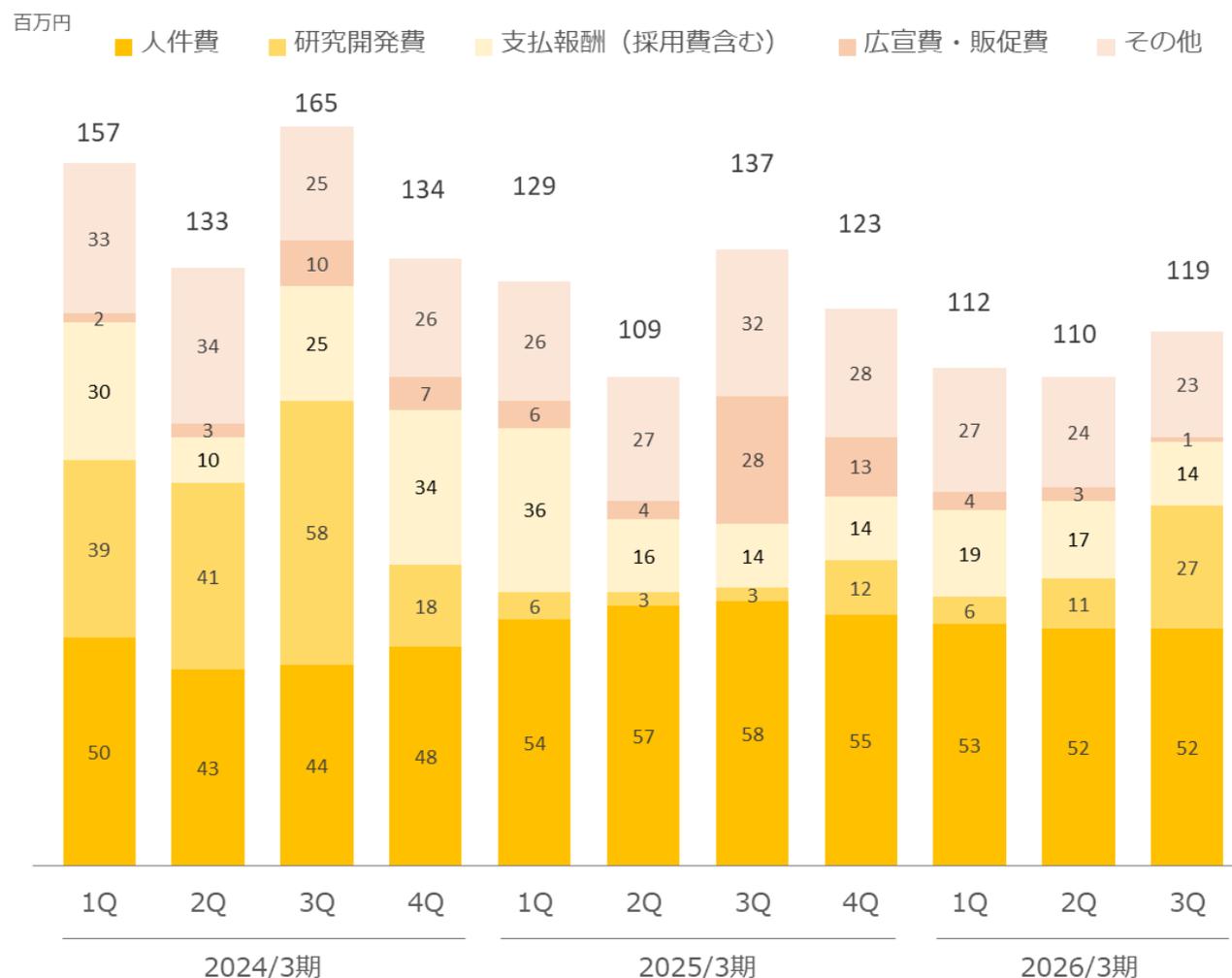
第3四半期売上原価、販管費明細



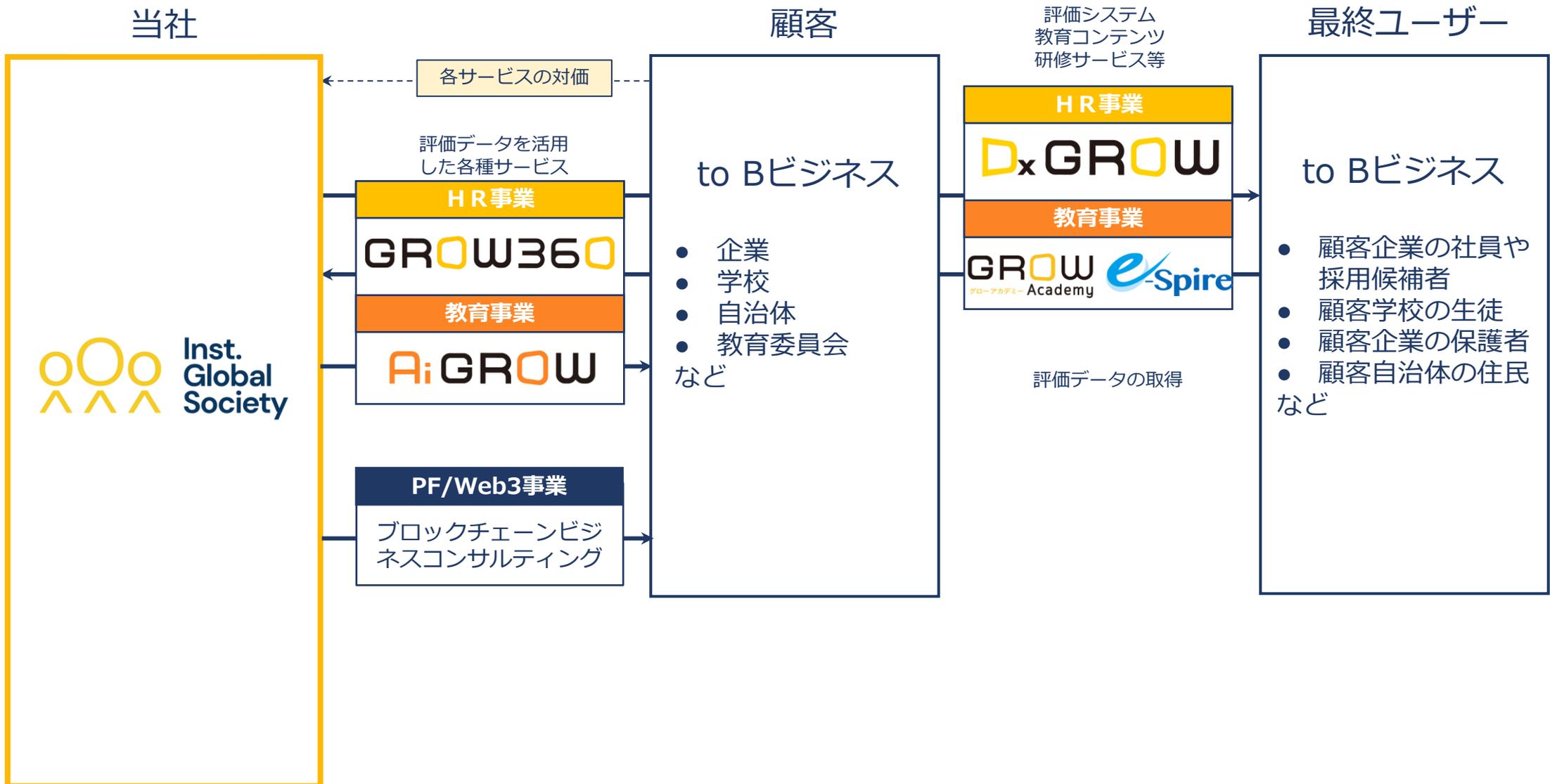
	2025年3月期 3Q連結実績	2026年3月期 3Q連結実績	前期比
(単位：千円)			
売上原価	312,660	210,012	△32.8%
労務費	193,093	122,530	△36.5%
減価償却費	10,608	1,375	△87.0%
外注費	63,678	50,909	△20.1%
その他	45,281	35,196	△22.3%
販売費及び一般管理費	376,385	342,177	△9.1%
人件費	170,502	159,764	△6.3%
研究開発費	13,737	46,001	+234.9%
支払報酬（採用費含む）	66,818	50,657	△24.2%
広告宣伝費・販売促進費	39,360	9,998	△74.6%
その他	85,966	75,755	△11.9%

- 広宣費・販促費は、ONGAESHIプロジェクトの転職支援撤退に伴い、減少。
- 研究開発費は、新製品含めたソフトウェアの開発やグローバルサウス補助金に係る事業の経費を研究開発費として計上したことにより、増加。

販売費及び一般管理費 推移



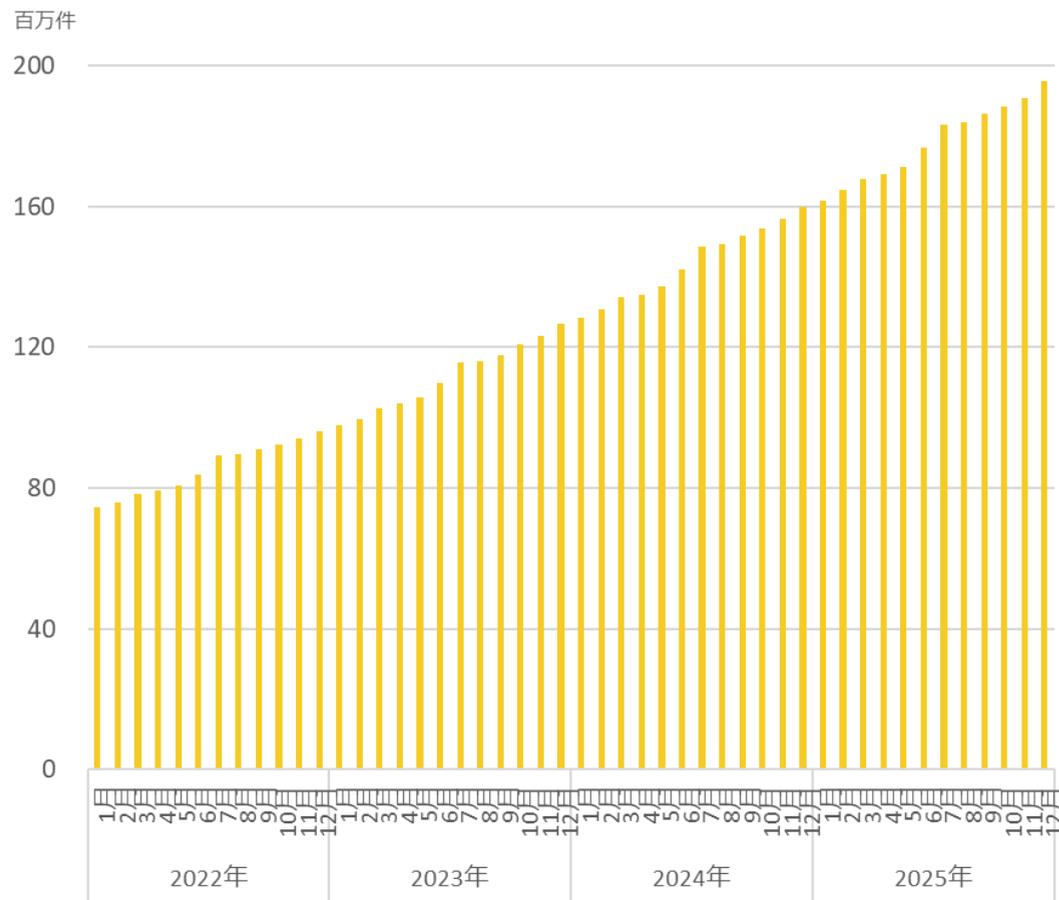
- 直接の顧客は主に企業・学校・教育委員会・自治体であり、当社のサービスの最終ユーザーは企業の社員や採用候補者、学校の生徒など
- PF/Web3事業については、ブロックチェーンビジネスに係るコンサルティングを展開



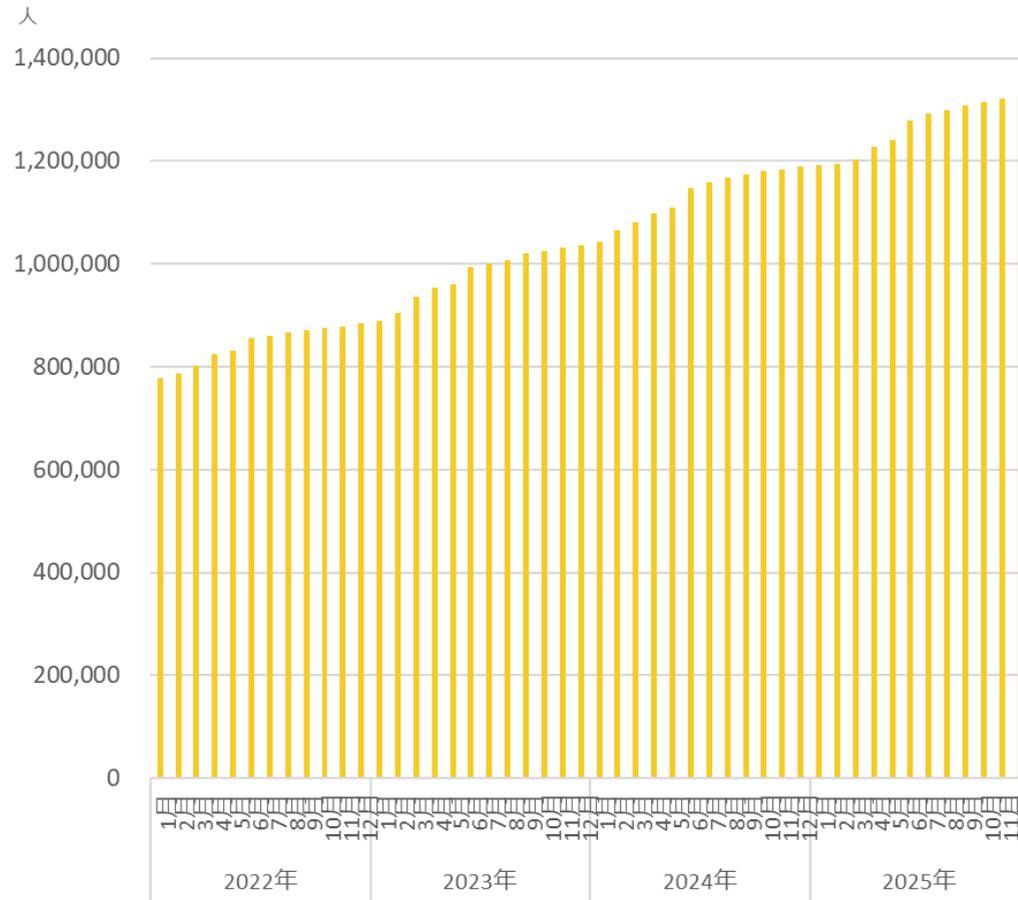


■ バイアスなき多様な評価データ 1億9千万件超・130万人超*の利用実績

評価件数



登録アカウント数



* 評価件数 = 上記アカウントが実施した他者評価件数（HR事業および教育事業の合計）
 * 25項目のコンピテンシーを84問で評価。1人の被評価者に対し、最低3人が他者評価を実施する
 * ユーザー数 = 登録アカウント数（HR事業および教育事業の合計）
 （2025年12月末時点）

■ 金融業界をはじめ、幅広いバックグラウンドを持つ社内外のマネジメント人材が集結

代表取締役会長CEO 福原 正大 *Masahiro FUKUHARA*

慶應義塾大学卒業。東京銀行（現：三菱UFJ銀行）入行後、INSEAD（欧州経営大学院）でMBA、グランゼコールHEC（パリ）で国際金融の修士号、筑波大学で博士号を取得し、パークレイズグローバルインベスターズ（現：ブラックロック）の取締役を経て現職。



代表取締役社長COO 中里 忍 *Shinobu NAKASATO*

外資系PR会社でクライアントサービス責任者として300以上のサービスや商品のマーケティングPRを担当した後、オンラインメディア企業の広報及び協会ビジネス担当執行役員を経て現職。

取締役 中江 史人 *Fumito NAKAE*

京都大学経済学部卒業。三菱銀行（現三菱UFJ銀行）に入行し、1996年に同為替資金部副部長、及び東京外国為替市場委員会議長に就任。1999年にスタンダードチャータード銀行に入行し、同ホールセールバンキング共同代表兼グローバルマーケット部門長等務める。2021年に当社社外監査役に就任、2022年に現職。

常勤監査役 加納 裕 *Yutaka KANO*

東京工業大学工学部機械物理工学科卒業。ベンチャー企業設立に参加し技術担当取締役や代表取締役CTOを歴任。

社外取締役 幸田 博人

Hiroto KODA

一橋大学経済学部卒業。日本興業銀行に入行し、2016年みずほ証券取締役副社長（代表取締役）に就任。2018年に同社退任後、(株)イノベーション・インテリジェンス研究所社長、(株)産業革新投資機構（社外）取締役などをつとめる。2021年に当社社外取締役に就任。

社外監査役 稗田 さやか

Sayaka HIEDA

一橋大学法学部卒業。2007年弁護士登録し半蔵門総合法律事務所に入所。退所後、2010年に表参道総合法律事務所に入所（現任）。2019年に東京建物株式会社社外監査役に就任。2021年に当社社外監査役に就任。

社外監査役 小林 武

Takeshi KOBAYASHI

慶應義塾大学卒。東京銀行に入行。HEC経営大学院（仏）でファイナンス修士号取得。格付投資情報センター、パークレイズ・グローバル・インベスターズなどで企業評価、資産運用、コンサルティング等に従事。筑波大学大学院で博士号（経営学）取得。名古屋商科大学ビジネススクール教授。2022年に当社社外監査役に就任。

会社名	Institution for a Global Society 株式会社
所在地	東京都渋谷区恵比寿南一丁目11番2号
事業内容	AIを活用した人材評価プラットフォームを 企業や学校に提供
設立日	2010年5月18日
資本金	90百万円（2025年12月末現在）
代表者	代表取締役会長CEO 福原 正大（創業者） 代表取締役社長COO 中里 忍
従業員数	40名

**サービス
紹介**



■ 将来情報に関する免責

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの将来の見通しに関する記述は、本資料の日付時点の情報に基づいて作成されています。これらの記述は、将来の結果や業績を保証するものではありません。このような将来予想に関する記述には、既知および未知のリスクや不確実性が含まれており、その結果、将来の実際の業績や財務状況は、将来予想に関する記述によって明示的または黙示的に示された将来の業績や結果の予測とは大きく異なる可能性があります。

これらの記述に記載された結果と大きく異なる可能性のある要因には、国内および国際的な経済状況の変化や、当社が事業を展開する業界の動向などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

■ 公開情報に関する免責

また、当社以外の事項・組織に関する情報は、一般に公開されている情報に基づいております。



分断なき持続可能な社会を実現するための
手段を提供する。

Institution for a Global Society 株式会社

〒150-0022

東京都渋谷区恵比寿南一丁目11番2号

TEL: 03-6447-7151 / FAX: 03-6447-7152

URL: <https://www.i-globalsociety.com/>